

令和2年度和歌山市子ども・子育て会議(書面開催) 委員からの意見等一覧表

議題No.	内容	意見等	回答	担当課	
1	特定教育・保育施設の利用定員について	さくら幼稚園が施設型給付費の支給対象園に移したのか。	さくら幼稚園については、本市で特定教育・保育施設の確認を受ければ、令和3年度から施設型給付費の支給対象園となります。	保育こども園課	
1	特定教育・保育施設の利用定員について	新堀こども園は、3号にあたる1・2歳児8名、0歳児4名の定員減となっています。園の現員数に合わせるものとありますのでやむを得ないと思いますが、待機児童もいる中、維持していただけないものかと思いました。	園に対しては、市の待機児童の現状を踏まえ定員維持の要請を行うなど、協議を重ねましたが、園の現員や過去の在園状況等を総合的に勘案し、やむを得ないものと判断しました。	保育こども園課	
2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	【施策番号15】 予防接種	予防接種率の低下(54.4%)について、特に接種率が低い年齢層は把握できているか。また、その対策は。	目標100%に対し半期54.4%の実績で、概ね計画通りに経過しています。保育所等を通じた勧奨通知や一部の予防接種では未接種者へ個別通知を行うなど様々な接種勧奨を実施しています。	保健対策課
		【施策番号28】 子ども家庭総合支援拠点の設置	相談件数6,168件は、延べ件数ではないのですか。また、主な相談内容について。	相談件数6168件については、延べ相談件数で報告させていただいております。また、児童虐待通告事案に対する対応をはじめ、養育支援を要する家庭への対応及び子育て不安や育児全般にかかる相談等が主な相談内容となっております。	こども総合支援センター
		【施策番号34】 和歌山信愛女子短期大学との連携による地(知)の拠点事業	信愛短大利用者「111人」は再確認が必要と思います。	信愛短大利用者数については47人と訂正させていただきます。	こども総合支援センター
		【施策番号75】 子育てに関する相談体制の強化とネットワークの構築	こども総合支援センター5,803人となっているが、「【施策番号28】子ども家庭総合支援拠点の設置」との関連はないのでしょうか。	子育てに関する相談体制の強化とネットワークの構築と子ども家庭総合支援拠点の設置においては関連しております。また、子育てに関する相談体制の強化とネットワークの構築については、要保護児童対策地域協議会等の関係機関と連携を強化し要保護児童及びその家庭への支援等を行っております。	こども総合支援センター
		全体	今般のコロナ禍において、例年通りの実施は困難であることは十分に理解していますが、今後、感染対策を講じながら運営方法を検討し、実施に向けて取り組む必要があると思います。特にニーズの高い施策については、対応していけるよう工夫が求められると思います。	委員からいただきましたご意見を第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の関係各課に共有させていただきます。	子育て支援課
2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	コロナ対策をはじめ、感染症等を予防するため、保育園等の施設に対して、その経費の助成を考えていただきたい。	令和2年度において、保育所等に対しては、マスク等の感染拡大防止対策用品の購入にかかる経費や施設職員が消毒・清掃等の通常想定されていない感染症対策に係る業務の実施に伴う手当等の経費を対象とした補助(1回当たり50万円上限)を2回実施しています。また、令和3年度についても同様の補助金を予算計上しています。	保育こども園課	
2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	【施策番号42】 こども医療費助成	医師会としては、年度末までの集計が出てからで良いので、こども医療費助成が本年度いくらになったのか報告をいただきたい。	令和2年度の実績については、次年度に確定いたしますので、次回の子ども・子育て会議において報告させていただきます。	こども家庭課

令和2年度和歌山市子ども・子育て会議(書面開催) 委員からの意見等一覧表

2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	【施策番号1】 子育て世代包括支援センター事業	検診に妊婦、出産後赤ちゃんの検診に來ない等、気になる妊婦には徹底して、長期、見守り支援が必要。早期虐待防止につながるのでは。	気になる妊婦については、妊娠届出時から把握し、医療機関等と連携しながら妊娠初期から保健師が支援を開始している。また、出産後も継続して支援し、家庭が安定するまで支援を行っています。 乳幼児健診未受診の場合は、電話等で受診勧奨し、それでも受診につながらず、状況把握できない場合は必ず訪問し支援につなげています。	地域保健課
		【施策番号7】 こんにちは赤ちゃん事業・新生児訪問指導	訪問のニーズがなく、拒否の家庭には全件電話でとあるが、気になる家庭には、地区の民生委員と連携し合うことができるのではないかと。	気になる家庭については、訪問のニーズがなくても地区担当保健師が関わる機会をみつけてアプローチし、支援につなげています。ケースに応じて地区の民生委員に連携依頼をしています。	地域保健課
		【施策番号28、102】 ・子ども家庭総合支援拠点の設置 ・子供の虐待防止に対するネットワークの充実	虐待の未然防止や早期対応ですが、見つけにくい学校では毎日かかわる子供たち、教師が「アレ？」とアンテナを高く、見る努力が必要。学期ごとの身体測定、担任や保健の先生が子供の身体にアザがないか等。	小・中学校における虐待の未然防止や早期対応について、児童虐待を疑う事案を発見した場合は、すみやかに和歌山市又は児童相談所へ情報提供や通告していただいております。	こども総合支援センター
		【施策番号29】 一時預かり事業の充実	いち早く手続できて、預けられる簡単な方法に。	利用手続き等については、利用者等の皆様のご意見を伺いながら、できる限り利用しやすよう、見直しを検討してまいります。	保育こども園課
		【施策番号51、140】 ・男女平等意識の啓発 ・インターネット上の有害情報対策の推進	参観日、道徳の授業後、懇談会で保護者と話し合う、学校と家庭との連携が大事。	男女平等意識の啓発やインターネット上の有害情報対策の推進については、ご指摘のように、保護者と連携して取り組むことが大切であると考えます。学校では、連携できるように親子での情報モラル教室を実施したり、道徳で子供たちが学習した内容をプリントでお知らせしたりしています。今後も参観等を通じて保護者への啓発に取り組んでいきます。	学校教育課
		全体	新型コロナウイルスの影響で抜けた分、例えば、この年齢の子だけ、どのように今後穴埋めするか、どのように計画し、取り組むか、コロナのために大事なことが抜けた子供達は将来にかかわらないか。できないものもたくさんあるが。	委員からいただきましたご意見を第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の関係各課に共有させていただきます。	子育て支援課
2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	【施策番号21】 5歳児相談事業	委託先が和歌山県立医大から愛徳医療福祉センターに変更されたが、大切な事業のため、継続を望む。	今後も地域保健課、保育こども園課、学校教育課が協力・連携し事業を継続します。	地域保健課
		【施策番号128】 特別支援教育支援員派遣事業	専門員の巡回支援は、増員することを望む。専門員5名の専門性(職種)などを知りたい。	現在巡回支援訪問を行っている専門員は、小・中学校の元管理職、特別支援学級担任や通級指導教室担当者を経験された方など、和歌山市の特別支援教育の状況を十分把握し、特別支援教育に精通した方々です。今後も発達障害のある児童生徒に対し、よりよい支援ができるよう努めてまいります。	学校教育課
		全体	新型コロナウイルス感染症に伴い、ほとんどの事業が難しくなっていることを考慮してあげてほしい。	委員からいただきましたご意見を第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の関係各課に共有させていただきます。	子育て支援課

令和2年度和歌山市子ども・子育て会議(書面開催) 委員からの意見等一覧表

2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	【施策番号8、9、10、11、17、18、21、22、50、】 妊婦教室(赤ちゃん広場) 外8件	「コロナにより中止」となっているものが多いが、これにより市民にどのような影響が出ているのかについて実態把握が必要かと思う。その上で、今後どのような施策の展開が可能かについて、またどのように考えられているかについて伺いたい。	別の機会を活用したり、家庭訪問や電話相談・来所相談などを活用した個別支援を継続していく予定です。 市民のニーズに応じた支援が行えるよう、感染予防対策をとりながら事業展開を検討していきます。	地域保健課
		【施策番号23、71】 ・認定こども園及び保育所における食育の推進 ・家庭支援推進保育事業の充実		<p>・食育の推進について 給食委員会、研究委員会については、コロナ感染症対策の観点から開催を見合わせた月もありましたが、必要に応じて、情報提供・交換等の実施に努めました。なお、給食委員会等の実施に当たっては、インターネットの活用等も検討してまいります。</p> <p>また、認定こども園及び保育所については、施設の性格上、コロナ禍においても、必要な感染症対策を実施の上、通常どおり、開所していたため、市民に対する影響は軽微であったと考えており、引き続き食育の推進に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>・家庭支援推進保育事業について 定期的な研修会については、コロナ感染症対策の観点から開催を見合わせたこともありましたが、個別に情報交換を行うなど、家庭支援の充実に努めました。なお、研修会の実施に当たっては、インターネットの活用等も検討してまいります。</p> <p>現場における家庭訪問等については、コロナ禍の影響から、減少していますが、家庭支援の充実に向けて、重要度に応じて実施するなど、効果的・能率的に対応できるよう努めています。</p>	保育こども園課
		【施策番号34】 和歌山信愛女子短期大学との連携による地(知)の拠点事業		子ども総合支援センター	
		【施策番号35】 子供や親子の交流の場づくり事業		新型コロナウイルス感染状況を見極めつつ、定員の見直しやオンライン配信など手法を検討した上で、事業実施できるよう努めます。	生涯学習課

令和2年度和歌山市子ども・子育て会議(書面開催) 委員からの意見等一覧表

		<p>【施策番号39、119】 ・市立幼稚園「未就園児のつどい」の開催 ・明日の和歌山市を築くジュニア会議</p>		<p>・市立幼稚園「未就園児のつどい」の開催につきましては新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、8月までは中止していましたが、9月から実施しています。引き続き、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等を踏まえ、感染症対策を講じ、可能な範囲で開催していきます。</p> <p>・明日の和歌山市を築くジュニア会議は今年度中止となってしまいましたが、中学生が和歌山市政や社会全般について関心を高め、学区を越えた生徒同士の交流を図り、将来進むべき方向について考える大切な契機となるものですので、感染状況をしっかりと見極めたうえで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、実施できるよう努めます。</p>	学校教育課
		<p>【施策番号62】 幼児教育・保育の質の向上</p>		<p>8月初旬に実施予定であった集合研修については、実施時期を変更し、令和3年2月1日に10園・2保育所・1小学校より33名の教職員が参加し開催された。今後、集合研修の実施が困難である場合は、研修内容を動画で配信することも考えていきたいです。</p>	教育研究所
		<p>【施策番号140】 インターネット上の有害情報対策の推進</p>		<p>学校からの依頼を受けて、コロナ対策を十分に行ったうえで情報モラル教室を行い、今起きている問題等を事例として挙げ、子供達や保護者の方に説明し、スマートフォンやインターネットの使い方について啓発を務めています。</p>	少年センター
2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	全体	<p>昨年は予想もつかなかった新型コロナウイルスの発症でした。子育てを行う方々の中には、特に経済面・精神面で支援を必要とされる方々が多いのではないかと考えます。令和3年度に向け、至急、現状の把握を行い、特別な施策・対策を練る必要がありませんか。</p>	<p>委員からいただきましたご意見を第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の関係各課に共有させていただきます。</p>	子育て支援課
2	第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(報告)	<p>【施策番号73】 放課後児童クラブ(若竹学級等)の充実</p>	<p>内容で「開設時間の延長や利用希望者すべての受入れを目指す」とあるが、本年度の取組でどうなったのかの記述がない。特に本年度から民間委託したが、その効果(内容の充実したもの)を記述すべきでは。</p>	<p>本年度の取組に関しては学級増設の遅延等による待機児童が生じましたが、年度途中で解消しております。民間委託の効果については、委託先の臨床心理士等の専門家の指導により、安定した学級運営を行うことができました。開設時間の延長については、利用者のニーズを踏まえながら、委託先と検討してまいりたいと思います。</p>	青少年課

令和2年度和歌山市子ども・子育て会議(書面開催) 委員からの意見等一覧表

3	地域子育て支援拠点事業について(報告)	来期からも毎年プロポーザルで業者を選定するのか。	選定方法を含めて未定です。	子育て支援課
		プロポーザルの審査委員の方々は、ジェンダーバランスに配慮した委員で構成されているのか。	審査委員は、本市の規定により当該業務に関連する部局の原則課長職以上の職員(5名以上)で構成することになっているため、今回のプロポーザル実施にあたり、福祉局長、こども未来部長、子育て支援課長、保育こども園課長、地域保健課長で構成しました。 男性5人での審査となりましたが、一定の役職以上の者が委員となるため、今後の検討課題かと思えます。	子育て支援課
		新規参入業者の方は、今後どのような子育て支援をしていくのか。	今回、新規の事業者となるのは、一般社団法人市駅グリーングリーンプロジェクトであり、市民図書館4階の地域子育て支援拠点施設を運営する予定です。他の拠点施設と同様に基本事業となる子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施に加え、一時預かりを実施するほか、その他の子育て支援活動として、市民図書館との連携、地元の企業、公民館、子どもクラブ、老人会等との連携・交流、地域の学生の見学、実習、ボランティアとしての受入れを実施するなど、ご提案をいただいています。	子育て支援課
3	地域子育て支援拠点事業について(報告)	新規となっている「一般社団法人市駅グリーングリーンプロジェクト」の事業実現性において、評価点が高いように受け止めた。その根拠はどういったものであるのか伺いたい。	事業実現性は、「地域との連携・交流」、「スタッフの確保・配置」、「安全面への配慮・工夫等」の審査項目からなっており、当該事業者は、スタッフの配置に関し、地域子育て支援拠点事業の経験者を常勤職員として2名配置することや、地域団体の方をスタッフに加えるなど地域連携を充実させる提案となっていたことが、高評価につながったものと考えられます。	子育て支援課